

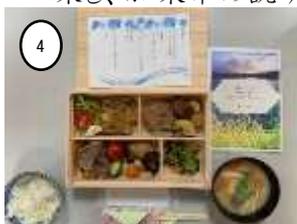
12月18日西上三鶴兵庫県教育長が来校されました。各学校を訪問され、現場の状況や生徒の様子、施設などをご自身の足で見て回られておられます。本校の現状や課題、今後に向けての展望などをお話しさせていただき、施設見学では、生活科学科2年の授業を見ていただきました。加東市の事業の小高連携食育で福田小学校に行き、各学年に説明する資料制作の時間でした。教育長の質問にも笑顔で答えてくれ、楽しそうに取り組んでいる姿を見ていただきました。施設を案内する中では、本校の敷地の広さや充実ぶりも感じていただけたと思います。1時間ほどの短い時間ではありましたが、本校の実情をお伝えしました。大変お忙しい中、来校いただきありがとうございました。

また、日本文教出版の2022年度版高等学校芸術科美術I教科書「高校生の美術I」に本年度全国総文に出展された3年新井結心さんの「雨止む」の作品が掲載されることになりました。新学習指導要領実施の際の教科書です。とてもうれしいニュースが飛び込んできました。おめでとうございます。

12月19日には兵庫県警からリクルーターとして警察官募集広報を担当されている方が希望者への説明に来られました。県警での仕事内容や心構えなどマンツーマンで教えていただきました。3月には地元企業の説明会を2年生で予定しており、人材確保にそれぞれの職場に応じた話を聞く機会を持ちます。職業観をしっかりと持って自分の人生設計を考えていかねばなりません。いろいろな機会を通してそのイメージを持てるようにしてほしいと思います。私の関わった生徒で、高校卒業時にモデルになりたいと言っていた生徒が東京ガールズコレクションの決戦まで残り、実際にモデルデビューし、仕事したのですが、結婚出産後に一念発起し、看護専門学校に通い、今は看護師として働いているものもいます。また、パイロットになりたい夢を持ちながら、高3で国体8位入賞したことでもう少し競技を続けたいと体育系の大学へ進学し、卒業後に航空会社に就職。当時はパイロット養成をしていなかったのですが、数年前に復活。見事パイロットとなり国内線で操縦士として働いているものもいます。自らの思いを達成するために必要なことはやはり自分でしっかりと考えて、自分でしっかりと道筋をつけて取り組んでいくことだとそういった生徒に教えられたような気がします。生徒の皆さんも自分の生き方をしっかりと見つめていってください。

12月22日には2年生生活科学科企画の「東条川疏水ツアー」が実施されました。神戸新聞旅行社とのコラボレーションで実現したツアーで

昨年に引き続き2回目です。JR神戸駅南側に集合していただき、27名のお客様と一緒に2年生2名が同乗し、加東市の説明をしながら清水寺に到着。清水寺では、バスガイドのように旗を持ち(写真①)、寺院内を



誘導。本堂では資料配布の手伝いをし、住職の話を聞いた後、施設内見学の付き添いをして清水寺を後にしました。その後、昼食をとるため、やしろショッピングパークBioに向かいました。

食事前に2年生地方創生班の生徒たちが2階多目的ホールにて学科説明をしました。神戸から来られた方々にはこんな学校があるのだという驚きと認識を持っていただけたと思います。プレゼンは初めてでしたが、わかりやすく説明できていました(写真②)。その後3年生地方創生班が先日、地方創生☆政策アイデアコンテスト2019で発表した内容でプレゼン(こちらはかなりの場数を踏んでいるため自信満々のプレゼンでした・写真③)。皆さん真剣に話を聞いていただき本当にありがたかったです。そしていよいよ出された弁当の蓋を開けると豪華なお弁当にびっくり(写真④)。驚きました。彩、食材、内容どれをとっても素晴らしい出来栄でした。さらに料理の鉄人に出られた大田忠道先生、有馬温泉角の坊渡辺祐馬料理長も最後のひと手間に応援に来られ、料理の説明までしていただきました。その後、各テーブルを回っていただき、料理のお話をさせていただいたり、写真を撮っていただいたりと大変なご支援をいただきました(写真⑤)。料理の後は、本校生活科学科制作で1階で校外実習販売をしていたショップ Seica(写真⑥)で実際に販売されているケーキやムースを食べさせていただきました。かなりのボリュームにおそらく満足していただけたと思います。昼食後は、酒米研究交流館



に場所を移して本題の「東条川疏水」についての研究発表を聞いていただきました(写真⑦)。館内の見学では山田錦の稲が私たちの普段食べているお米の稲と背丈(長さ)が随分違

い、倒れやすいので育てにくいことか、稲が育つ土の状態の説明や大吟醸に使われている 50%以上も精米された米粒を見せていただくなど酒造りに賭ける努力の跡を見せていただきました。その後神結酒造に移動して、酒造りの工程説明を工場見学をしながら聞きました(写真⑧)。地元で古くから酒造りに取組んでこられた様子がよくわかりました。最後に東条湖にある鴨川ダムを見学に行き、ダムの用途について神戸新聞旅行社の方から説明を受けました。鴨川ダムが農業用水用のダムであること(水力発電用とは違う)やダムができた歴史などを知ることができました(写真⑨)。最後は、道の駅とじょうに移動して、買い物を楽しんでいただきました。地方創生班の生徒たちもアンケートの配布や写真の配布をさせていただき、バスを見送りました(写真⑩)。多くの方々の支援のおかげで今回の企画が無事に終了することができました。生徒たちを支えていただいた皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。さらに生活科学科の先生方も準備から後片付けまで本当にお疲れ様でした。



12月23日には修学旅行の結団式をしました。団長挨拶では、大きな学校行事ほど無事に終わって当たり前であること、そのために時間とルールを守ることが大切であることを最初に話をし、その中で自分たちに与えられた時間を最大限に生かして楽しもうという内容で締めくくらせていただきました。副団長挨拶では久語主任が阪神淡路大震災時の修学旅行経験から修学旅行の大切さを話されていました。旅行団紹介の後は、保健関係、その他係からの連絡があり、いよいよ近づいてきた修学旅行に思いを馳せる結団式となりました。

12月24日には2学期の終業式が行われました。私の式辞では相田みつをさんの「他人の物差し、自分の物差し、それぞれ寸法が違



うんだな」という言葉と今年の流行語となった「ONE TEAM」から寸法の違う物差しをそろえるために必要なことを考え、お互いを思いやる、相手の物差しで考えてみること等工夫をして、知恵を出し合って部員だけでなく、学校、保護者、地域で「ONE TEAM」になろうということを話しました。さらに「何をやっても思うようにならない時、上に伸びられない時に根は育つんだな」という言葉から、うまくいことの方が少ない今、自分の力を蓄えるためにしっかり根を張ろう、そしてチャンスが来た時に一気に力を発揮できるようにしていこうという話で締めくくりました。社高校の生徒はまだまだ伸びしろがあるので、うまくいかない時、結果が出ていない時こそ、辛抱強く根をしっかり太く広げていくことをしていけば必ずもっともっと伸びていくと思います。生徒の皆さんに期待しています。

式辞が終わり校歌を歌った後は、表彰伝達。今回は、同じ大会で表彰された生徒が多く、団体であったり、複数入賞したりと多くの場面で力を発揮してくれたようです。柔道部、女子バレー部、生活科学科の皆さん、書道部の皆さん、放送部、写真部、読書感想文と分野も多岐にわたり、生徒たちの頑張りが伝わってよかったと思います。表彰を受けた皆さんおめでとうございます。

そして近畿大会壮行会。柔道部が1月25日(グリーンアリーナ神戸)、2月1日・2日(滋賀県ウカルちゃんアリーナ)で行われる近畿大会に男女団体と個人3種目で出場します。全国大会には直結しないようですが、来年の全国高校総体が東京オリンピックの関係で兵庫県開催となることから、地元開催の地の利を活かせるよう増えた枠に食い込むためには、いつもと違った相手と組めるチャンスは貴重です。練習での成果を活かし精一杯頑張ってきてほしいと思います。

服装検査と生徒指導部長からの注意を聞き、2学期の行事が終了しました。次に出会うときは令和2年です。次のステージをしっかりと意識して、その準備を始めておいてください。くれぐれも健康には気を付けて事故等に巻き込まれることがないように元気な姿で始業式で会いましょう。皆さん良いお年を。